

パリ2024五輪銅メダリスト 高嶋 理紗 選手が 母校の玉川小学校に凱旋報告



パリ2024五輪のフェンシング女子サーブル団体で日本チームの銅メダル獲得に大きく貢献をされた本市出身の高嶋理紗選手が、8月16日に母校である玉川小学校を訪れ、凱旋報告会が行われました。

高嶋選手は、児童たちに銅メダルを触れさせながら交流を図るとともに、パリ2024五輪の話や応援への感謝の意を述べられました。

また、将来は大牟田に戻り、競技の普及に向けて役に立ちたいとの抱負を述べられ、会場からは温かい拍手が送られました。

消防団が第27回福岡県消防操法大会に出場



大会前に出場選手による
議長と総務委員会正副委員長への表敬訪問

9月1日（日）、福岡県消防学校（嘉麻市）において開催された「第27回福岡県消防操法大会」では、本市の消防団もポンプ車の部に出場し、各分団の多くの関係者や市議会の有志などが応援に駆け付けました。

今大会では、優勝という大きな目標を掲げて、各分団の若手団員による選抜チームを結成し、小川和雄監督（団本部）の指揮のもと、坂井公博選手（羽山台分団）、トダガラ・セルジ選手（大正分団）、小川洸平選手（羽山台分団）、久富拓人選手（白川分団）、ブィ・ニュー・イー選手（高取分団）、前田翔輝選手（白川分団）は、6月から2か月半にわたり、天候を問わず、練習を重ねられました。

習を重ねられました。

また、今回のチームには、2名の外国人選手が参加していたことから、今まで以上に選手間のコミュニケーションを密にして臨まれました。



本番では、24チームが速さや正確性などを競い合い、本市消防団は7位という成績を収めました。優勝こそ逃しましたが、訓練を重ねてきた選手や、応援に駆け付けた各分団の関係者には笑顔があり、これまで積み上げてきた経験や仲間との信頼関係など、何物にもかえがたいモノを得られたようでした。

日頃の消防活動や災害時の救助活動などで、市民の安全・安心を守る消防団の活動からは、今後も目が離せません。

議会では、引き続き、消防団活動を応援していきます。

編集後記

決算特別委員会では、猛暑が続く中での審査となった関係が、市民の健康、エアコン設置及び災害についての質問が目立ったように思います。

これから議会では、学生、子育て中の保護者との意見交換を行うことで、若者世代の意見を市政に反映し、安心して子育てができる大牟田を目指していきます。（K）

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】大野哲也 【副委員長】北岡あや

【委員】光田茂 山口雅夫 櫻井ちはる

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.oomuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社 江崎印刷所